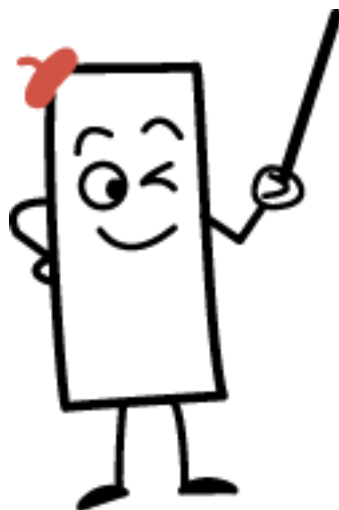


2020研修事例紹介

-試験対策オンライン化のリアル



株式会社アイテック
教育ソリューション部 部長
堤 清



お話しすること



**『合格ゼミ』 オンライン研修
事例と成果**

**その他の研修
コンセプト**

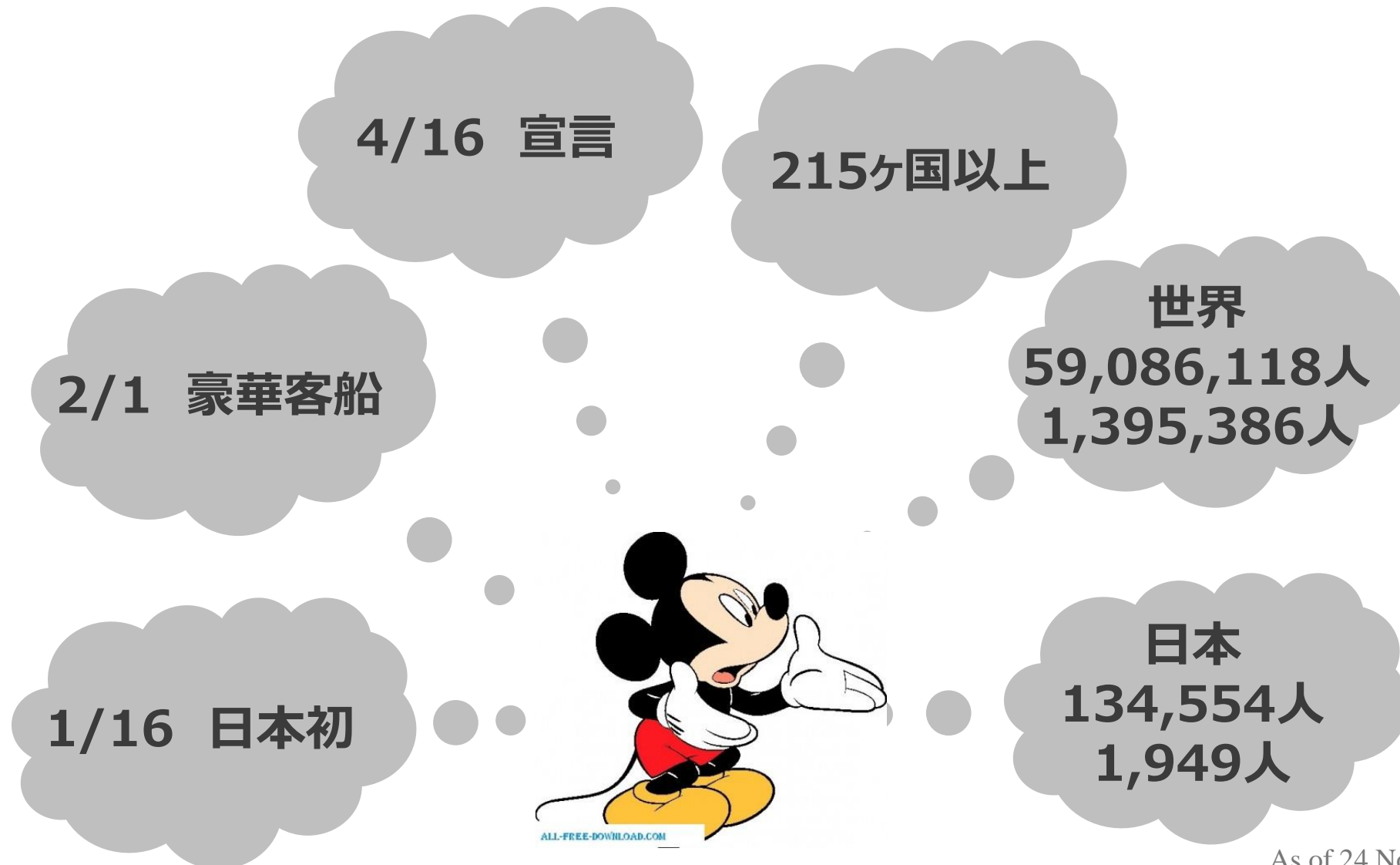
お話しすること



『合格ゼミ』オンライン研修
事例と成果

その他の研修
コンセプト

2020年 ねずみ年 年初、年度ははじめから



As of 24 November 2020(UTC)

新型コロナウイルス感染症で

一気に業務も研修もオンライン化

大多数の新人研修が急遽リモート研修に変更

4月～現在 合計 207案件 内33案件は会場実施

The Zoom logo is displayed in a bold, blue, lowercase sans-serif font.

使用率 約90%

The Cisco Webex logo consists of the word "Cisco" in a blue sans-serif font above the word "Webex" in a larger, blue, lowercase sans-serif font.

使用率 約5%

The Skype logo features a blue speech bubble icon with a white "S" inside, followed by the word "Skype" in a blue, lowercase sans-serif font.

使用率 約3%

The Google logo is displayed in its multi-colored, lowercase sans-serif font.

使用率 約2%

『合格ゼミ』 オンライン研修対応

情報処理技術者試験

情報処理技術者試験の対策セミナー

ごう かく

合格ゼミ

80%の受講生が「受講前より理解が深まった」と回答！

詳しくはこちら ▶

『合格ゼミ』オンライン研修対応

The Zoom logo is displayed in a blue, lowercase, sans-serif font.

セミナー配信

The OneDrive logo features a blue cloud icon above the word "OneDrive" in a blue, sans-serif font.

資料ダウンロード・共有

The Microsoft Teams logo consists of a blue icon with a white "T" and two stylized figures, followed by the text "Microsoft Teams" in a blue, sans-serif font.

社内対応用

『合格ゼミ』 オンライン研修対応

Office 365

+ 新規

↑ アップロード

↓ ダウンロード

自分のファイル > 合格ゼミ_2020秋 > 合格ゼミ_SC_直前対策 > 講座資料

名前

事前課題

1.20秋SC直前対策

3.演習問1_2019105

2.20秋SC直前対策

2020秋合格ゼミ_事

5.演習問3_H201804

4.演習問2_H201710

受講者メールで、ZoomとOneDriveを案内

◎ Zoom
ミーティングID : xxx xxxx xxxx
URL : <https://us02web.zoom.us/j/xxxxxxxxxxxxx>
パスコード : xxxxxxxx

- ・入室は講座当日の9:30以降にお願いします。
- ・ミーティングテストに参加してインターネット接続テストを事前に実施してください。
<https://zoom.us/test>
- ・カメラは必須としておりませんが、口頭での質問時にはカメラをオンにした方がコミュニケーションがとりやすくなると思われますので、可能な方は質問時にはオンにしてください。
- ・チャットとマイク、カメラは、講師や事務局からの指示に従いご使用ください。

◎ 講座資料のPDFダウンロード先
URL : <https://iteckensyu-my.sharepoint.com/:f:/g/personal/xxxxxxxxxxxxxxxxx>
パスワード : xxxxxxxx

- ・ブラウザで上記URLのOneDriveにアクセスし講座資料フォルダからファイルをダウンロードしてください。
- ・ダウンロードファイルに含まれている「2020秋合格ゼミ_事前案内.pdf」の内容を確認して講座準備を進めてください。

Zoom クラウド ミーティング

zoom

ミーティングに参加

サイン イン

『合格ゼミ』オンライン研修対応

ミューン解除

ビデオの開始

セキュリティ

参加者 2

新しい共有

共有の一時停

コメントを付

詳細

画面を共有しています

共有の停止

ITEC
人間力を、企業力に

2020秋
合格ゼミ

ネットワーク
スペシャリスト
午後対策講座

◆表示の名前のお願い
受講者番号_名前（漢字またはカタカナ）
例）01_佐藤
01_サトウ
受講者確認のために使用しますので、
この表示の名前のルールに則って参加してください。

◆カメラは必須としておりませんが、
口頭での質問時にはカメラ（ビデオ）をオンにした方が
コミュニケーションがとりやすくなると思われますので、
可能な方は質問時にはオンにしてください。

◆チャットとマイクは、講師からの指示があった場合のみ
ご使用ください。

※注意事項※

・ダウンロードした講座資料は、受講者本人の自己学習の目的でのみ使用可能です。

・内容のコピー、転用、転載、転送、公開を含む二次利用を固く禁止します。

・いかなる方法でも録画、録音およびスクリーンショットの取得を禁止します。

・講座の録画は実施しません。よって事後の録画配布もできません。

オンラインでの研修では
効果が得られないのではないか？

『合格ゼミ』オンライン研修 受講者アンケート実績

※2019年度は集合、2020年度はオンラインで実施した研修の比較

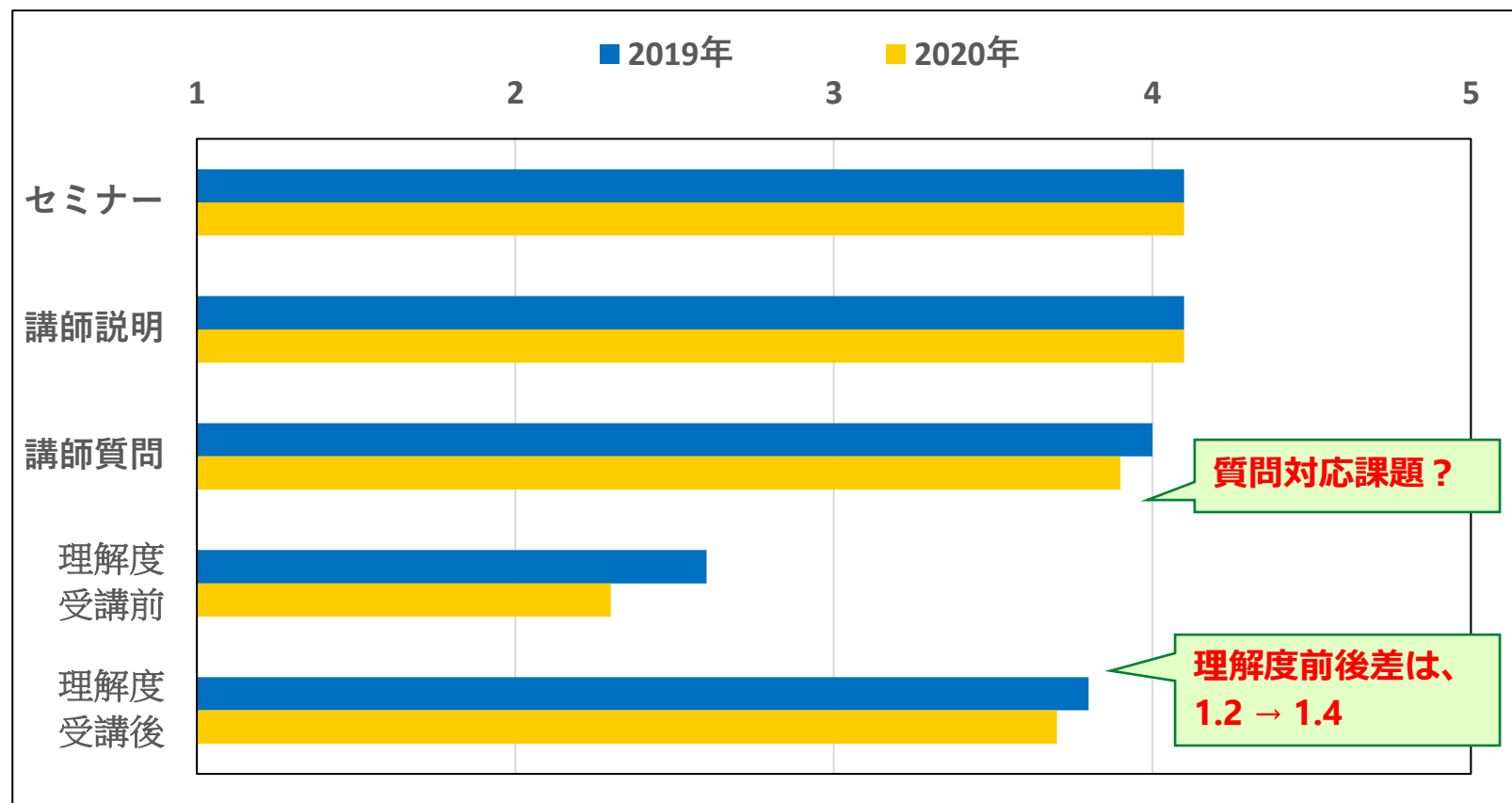
オンライン型でも集合型と同等レベルの満足度が得られた。

■ 研修満足度

	2019年	2020年
セミナー	4.1	4.1
講師説明	4.1	4.1
講師質問	4.0	3.9
理解度（前）	2.6	2.3
理解度（後）	3.8	3.7

※1～5段階評価で回答

※理解度：1= 0-25% 2= 25%-50%
3=50-75% 4=75%-100%
5段階換算



オンラインでの研修の メリット、デメリットは？

オンライン研修実施時の「効果」

メリット

- ・ **どこからでも参加可能**

開催会場場所の制約が無くなり、東京近郊以外からの参加が可能になった。

- ・ **コロナ禍等接触による懸念、影響回避**

東京近郊でも、コロナ禍の環境で物理的に集合による接触を避け参加が可能になった。

- ・ **参加しやすさ 高い出席率**

講座へ参加することの心理的ハードルが下がったことも考えられる。

- ・ **質問活発化**

通常以上に講師への質問、特に講座内での質問が活発化した感がある。

オンライン研修実施時の「効果」

メリット

- ・ **デジタル作成物の共有**

受講者事前学習解答作成のように、解答がファイル形式等デジタル化されている場合、これまで以上に受講者全体への共有がしやすくなった。

- ・ **質問や問いかけへの受講者の反応確認**

講師が受講者へ口頭で確認する以外に、反応ボタン、チャットを利用することでより反応を明示化できるようになった。

- ・ **連絡対応**

講座中に受講者が何らかの不具合が発生し、講師や事務局へ連絡をしたい際に、プライベートチャット等で連絡することで、講座を完全に一旦中断することなく、連絡し必要な対応を進めることができる。

オンライン研修実施時の「効果」

デメリット

- ・ **行動の確認**

カメラ無し、音声無しの場合は、受講者の行動を読み取りにくい。
受講者が講座中にどのような解答を作成しているかが、わかりにくい。

- ・ **感情の読み取り**

カメラ無し、音声無しの場合は、受講者の感情が読み取りにくい。
受講者がどのような反応をしているかが、わかりにくい。

オンライン研修の課題は？
工夫するポイントは？

オンライン研修実施時の「効果」

工夫

- ・ **通信等環境事前チェック**

事前にZoomテスト環境を案内し、講座開始時に基本的な不具合発生を回避。

- ・ **受講者名、受講者番号明示**

事前に受講者番号付き受講者名で参加の協力をいただき、講座実施時受講者とのコミュニケーションを円滑化。

- ・ **質問受付**

口頭に加え、チャットでも質問を促すことで、講師と受講者のコミュニケーションが活発化。

オンライン研修実施時の「効果」

工夫

- ・ **カメラオン**

カメラは少なくとも質問時、相互での話し合い時はオンにすることで、コミュニケーションが向上。
カメラオンの受講者割合が高い程、質疑も多くなる傾向が見られる。

- ・ **反応ボタン、チャット活用**

意識的に、反応ボタン使用を増やす、チャットでの確認を増やすことで、オンラインコミュニケーションの課題を改善できることがある。

- ・ **オンライン研修に適した新たなコミュニケーション**

今後の『合格ゼミ』は
オンライン開催？

今後の『合格ゼミ』予定

2020年秋期高度系試験が2021年4月の実施に延期

- ・『合格ゼミ』直前対策講座（NW、ST、SA、SM）
2021年3月28日(日) オンライン実施予定

2020年春FE試験CBT化対応

- ・『合格ゼミ』直前対策講座（FE）
2021年2月6日（土）、3月12日（土） オンライン実施予定

※IPA情報処理技術者試験実施内容公示による実施対応となります

※現状の予定であり確定では無いことをご了承願います

お話しすること



『合格ゼミ』オンライン研修
事例と成果

その他の研修
コンセプト

その他どんな研修がオンライン
でできるの？

『IT技術者実践力強化ゼミ』



The graphic features four professionals in business attire arranged around a central text area. On the left, a man in a dark suit and a man in a white shirt with a blue tie. On the right, a woman in a blue blazer and a woman in a striped shirt. The central text is in red and white, with a red circular badge indicating 'PDU obtainable'.

システムエンジニアの
上流工程を学べる講座

IT技術者
実践力強化ゼミ

PDU
取得可能

詳しくはこちら▶

ご存知、ご利用でしょうか？

『IT技術者実践力強化ゼミ』

「IT技術者に必要なスキル」に沿って、アイテックが厳選してデザインしたIT技術者向けのオープン研修をご提案いたします。

あなたのスキル向上とプロジェクトを成功させる対応力の向上にアイテックがお力添えいたします。

今、**IT市場で求められるビジネス価値**を生み出せるIT技術者を目指せる研修をご提供いたします。

<https://www.itec.co.jp/howto/seminar/>

『合格ゼミ』が、情報処理技術者試験合格を目指す試験対策講座に対し、
『実践力強化ゼミ』は、資格取得のためではなく、IT技術者として
業務を進めるために必要な力を身につけるためのものです。

『IT技術者実践力強化ゼミ』

○コースの特長

- ・ **短期集中（1日講座）**

限られた時間の中で集中して学習をすることで知識の定着をはかります。

- ・ **少人数制**

受講生全員に講師のフォローが行届くように、あえて少人数制で実施します。
また、一人一人のレベルに応じて丁寧な対応を行いますのでスキルや力をより身につけやすい講座となっております。

- ・ **経験豊富な講師陣（有名講師が特別カリキュラムで登壇）**

大手企業での実務経験や、研修講師経験、著者としても活躍されている有名な講師による特別カリキュラムをご用意しました。受講後、直ぐに現場で活用できるスキルを提供します。

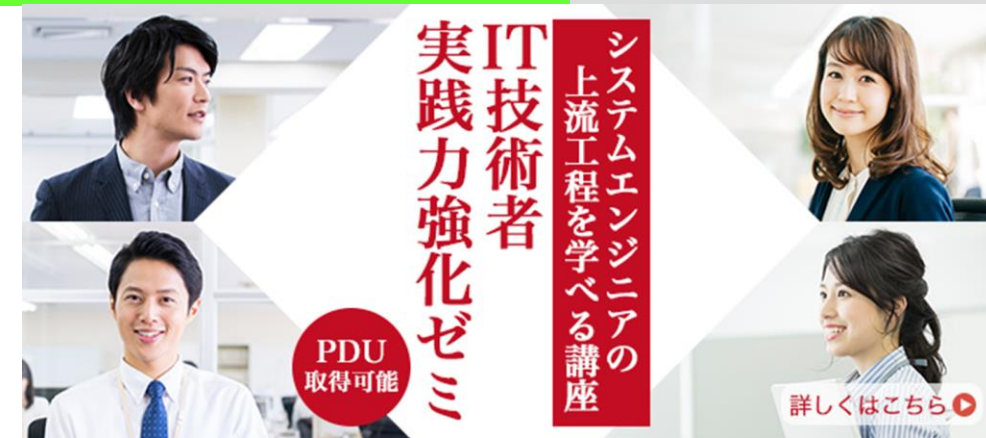
- ・ **8PDU取得/1日**

1日で8PDUを取得することができます。PMP®資格試験の有資格者で更新の方はじめ、ぜひご活用ください。

『IT技術者実践力強化ゼミ』

○コース紹介 1-3月講座

- ・ **1/15 現場で使えるITサービスマネジメント実践【8PDU】** 木村 裕 講師
ITIL資格を保有している方も、保有されていない方にもオススメ
- ・ **1/22 IT基礎としてのIoT実践【8PDU】** 小島 琢矢 講師
Raspberry Piによる試作品作りを体験する
- ・ **2/5 演習で身に付ける非機能要件定義実践【8PDU】** 山下 真吾 講師
非機能要件定義で、システムのユーザー不満を解消する
- ・ **3/12 IT基礎としてデータ分析実践【8PDU】** 小島 琢矢 師
Excelによるデータの可視化、要約、相関分析、回帰分析



オンライン対応可能なヒューマンスキル研修（例）

生産性向上から基本的なビジネス／ヒューマンスキルまで1社研修にてご提供いたします

役割／ テーマ	働き方改革・ 生産性向上	ダイバーシティ (女性、シニア)	セルフモチベーション	マネジメント力強化	ビジネススキル／ ヒューマンスキル
管理職	ロジカルライティング (指導者向け) ※会議ファシリテーション ファシリテーター養成 タイムマネジメント	女性活躍推進 (管理職向け／一般社員) 女性リーダーのための マネジメント研修 グローバルビジネスコミュニケーション	レジリエンス	SEのためのチームマネジメント マネジメント入門 リーダーシップ開発	問題解決・ロジカル シンキング エンゲージメント研修 (Thank you 研修) ハラスメント関連
リーダー・ 中堅・ シニア	ロジカルライティング	シニア社員向け キャリアデザイン、 後進育成			コミュニケーション、プレゼン 営業力・提案力強化
若手・ 新入社員			若手向け 「人生100 年時代」の 働き方研修 ／ キャリアデ ザイン研修		

※個別のメニュー詳細につきましては別紙「ITECお勧めヒューマン研修」にてご案内いたします

新入社員を対象としたオンライン対応可能なサービス



IT市場で求められる 人材、ビジネス価値？

社会人基礎力

経済産業省が主催した有識者会議により、**職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力(= 3つの能力・12の能力要素)」**として定義。

前に踏み出す力 (アクション)

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

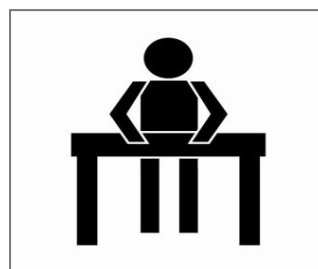
他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

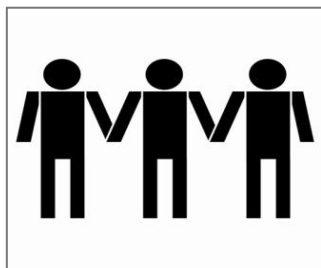
計画力

課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

チームで働く力 (チームワーク)



発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性

社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力

ストレスの発生源に対応する力

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～

人生100年時代の社会人基礎力

これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力／12の能力要素を内容としつつ、能力を発揮するにあたって、**自己を認識してリフレクション（振り返り）**しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることが、**自らキャリアを切りひらいていく**上で必要と位置付けられる



2020 IT人材白書

～人に選ばれる“企業”、選べる“人”になる～

2020 IT人材白書

～人に選ばれる“企業”、選べる“人”になる～

サブタイトルに込めた意図

- ・ 新型コロナウイルス感染症の大流行という非常事態宣言で、日本社会のデジタル化立ち遅れが浮き彫りに
まさに今、すべての企業は、**一刻も早くDX**に取り組まざるを得ない
- ・ DX推進には、**企業は人材を自社に惹きつける魅力**を拡充させ、IT人材自身は、**新しいスキルを身に着け、その力を発揮**できる
今こそ、企業と人が新たな日常を迎えるための関係を構築し始めるとき

2020 IT人材白書より

○企業のIT人材人材を取り巻く変化

- ・ユーザ企業は**IT人材の質に対する不足感**の高まり
DX化取り組みを加速させる要因のひとつが、**企業文化・風土**にあり
ビジョン方向性明確化、チャレンジ、多様な価値観
- ・IT人材企業は、スキル把握の方法に変化
スキル把握：自社基準、**情処資格**、他

○DX推進に向けて

- ・デジタルビジネス推進企業のDX取り組みの成果あり/なしの比較
成果を出している企業は、**全社戦略に基づいた全社的DX推進**実施
課題は内向き問題 →企業文化・風土を高めて多様性を持ちながらDXを推進

2020 IT人材白書より

○スキルアップ意欲と活かす場

- ・スキルを活かす場こそ“人”のやる気を上げる
先端ITで人材不足拡大、従来型IT人材の余剰 ⇒ リスキル
 - 先端IT非従事者：消極的でスキル習得意欲や転職思考が低い
必要性を感じない、金もかけない、勉強もしない
 - 先端IT従事者は：スキルアップに積極的
 - 両者共通課題は、新たなITスキルを習得しても活かせる場がない
- ・日本と世界の違い
ミレニアル世代、Z世代は、世界との差が無い
離職理由：報酬、学習成長機会が無い、職場風土が合わない

2020 IT人材白書より

○選ばれる企業、自分の価値を高めるために

- ・ 企業：デジタル型ビジネスモデルへの転換遅れ
経営層がデジタルがもたらす変革への理解、認識、IT活用の見識不足
変革への抵抗、危機感の共有不足、既存人事制度や組織文化が変革阻害
- ・ 個人：感度の低さや危機感不足からスキルアップ意欲低い、
学んでも活かす場がない、キャリアに対する当事者意識が希薄
- ・ 本質的課題：第四次産業革命が進み、行動・考え方が大きく変化しても、
企業の方方向性と個人のあるべき姿が描けていない
- ・ 課題解決：“個人に選ばれる企業”、“企業に依存しない個人”による
新たな関係構築と、IT人材の適材適所、Job型雇用

世界のIT人材育成トレンドは？

ATD (Association for Talent Development)

「ATD New Talent Development Capability Model」

ATDの能力モデルは、これまでの

コンピテンシー＝“現在”の職務遂行に必要な知識・スキル

という考え方から、

**ケイパビリティ＝知識・スキルを統合して“将来”のニーズに
柔軟に対応していく能力**

という考え方に大きくシフト

アイテックが目指しているのは？

より高いレベルの研修へ

スキル研修で学んだものを（Level1,2）、現場で行動、実施でき（Level3）、その結果、企業の目標、業績へ反映されている状態（Level4）

カーク・パトリックの4段階評価法

Level 1 : Reaction 反応

受講直後のアンケート調査などによる
学習者の研修に対する満足度の評価

Level 2 : Learning 学習

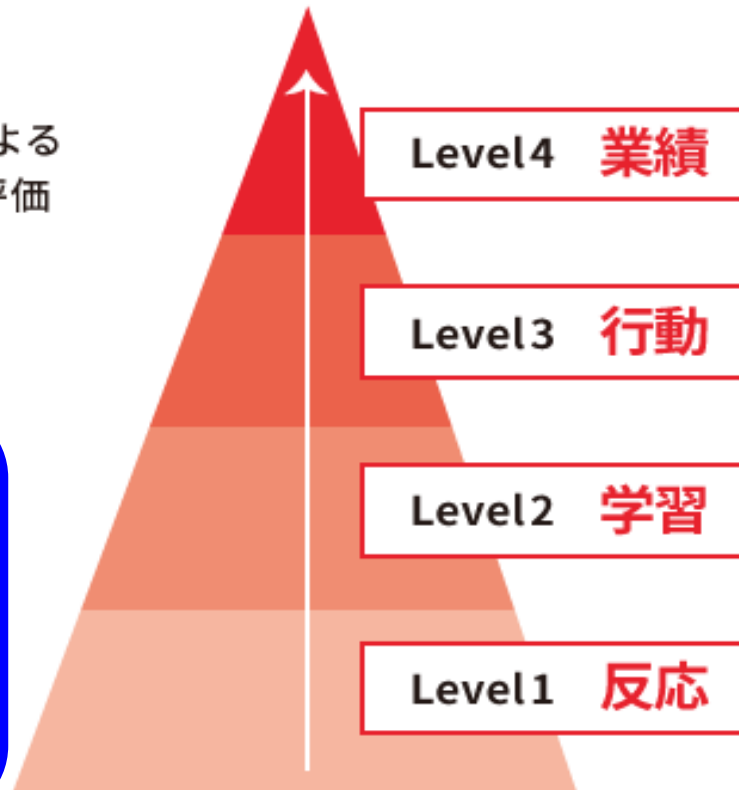
筆記試験やレポートなどによる
学習者の学習到達度の評価

Level 3 : Behavior 行動

学習者自身へのインタビューや
他者評価による行動変容の評価

Level 4 : Results 業績

研修受講による学習者や
職場の業績向上度合いの評価



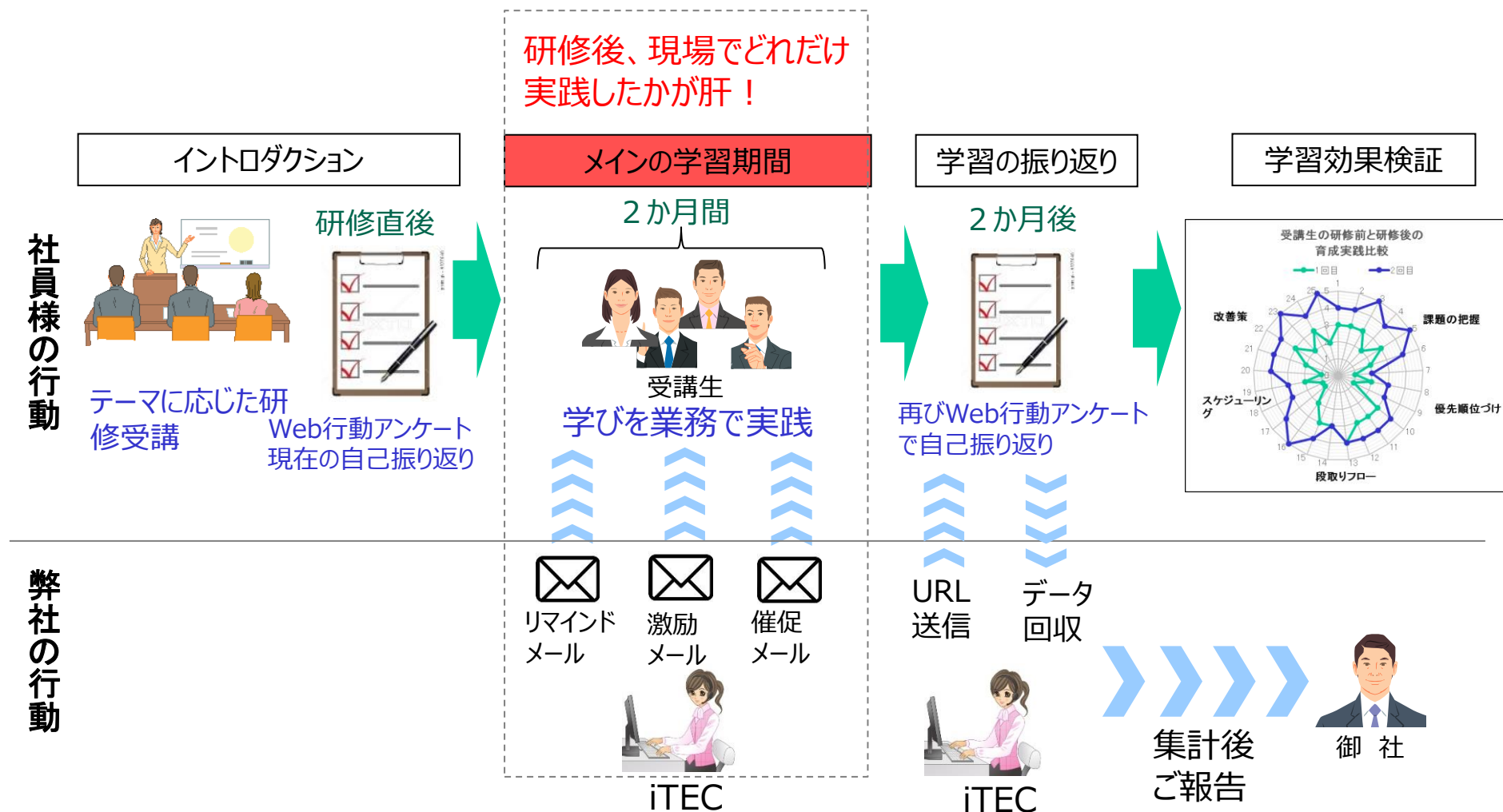
企業課題・目標対応

定着サービス

確認テスト

受講アンケート

受講後の行動を見える化する「学び定着サービス」



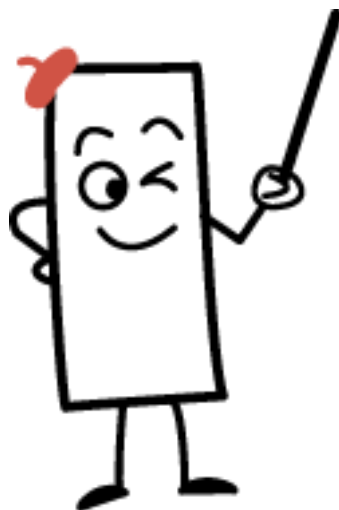
※オプション：社員様からの質問・相談メールも承ります（但し、技術的な業務の質問は不可）
※弊社からの受講生様への送受信が不可の場合は、ご担当者様にて配信をお願いいたします。

まとめ

1. 新人研修、『合格ゼミ』等、多くのオンライン研修実績と更なる改善対応
2. IT人材白書等で分析された、“IT業界で求められるスキル”
経済産業省が定義した、“社会人基礎力”をベースに研修対応
グローバルのタレントディベロップメントをキャッチアップ
→「何が求められてるか？」
3. お客様の課題、目標を“教育”で解決、実現することを目指す

ご清聴ありがとうございました

ご清聴ありがとうございました



株式会社アイテック
教育ソリューション部 部長
堤 清

